



# 古中だより「坂道」

<くめざす生徒像>

(知) 自ら学ぶ生徒  
(徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒  
(体) 心身ともに健康な生徒

令和4年度 第17号

10月24日 発行

古殿町立古殿中学校  
校長 上野 康生

## ～ 第48回玲瓏祭 大成功! ～

10月22日(土)に第48回玲瓏祭が行われました。お忙しい中、岡部光徳町長様をはじめ、ご来賓の皆様、そして保護者の皆様においでいただき、誠にありがとうございました。今年度もコロナ禍での開催のため、検温や来場者の人数制限など、様々なご協力をいただきながら開催できましたことに心より感謝申し上げます。

さて、当日は、一人一人の個性があふれ、今年しか出せない色を出し、全校生が主役となれるような玲瓏祭になってほしいという願いが込められたテーマ「Colorful ～一人一人が主人公～」(3年生の久保木琉唯さん考案)のもと、小針星砂実行委員長を中心に、開会式において全校生で作りに上げたビッグアートの披露、マスコットキャラクターの披露、実行委員による工夫を凝らした企画に始まり、午前中は意見発表や英語弁論発表、合唱コンクール、ダンス発表が行われました。また、会場には工夫を凝らした学級紹介新聞や2年生の学習旅行新聞、さらには素晴らしい美術部の作品や書道作品、美術作品が展示され、そのような作品の一つ一つにも生徒の頑張りが感じられました。



意見発表では各学級の代表がそれぞれのテーマで自分の考えを堂々と発表しました。「あいさつ」、「マスクとの関わり」、「SDGs」、「ポイ捨てと海洋ゴミ問題」、「仲間から学んだ大切なこと」、「自転車運転免許」と身近な話題から社会的な課題まで幅広い発表があり、大変勉強になる内容でした。その中で、「自転車運転免許」をテーマとして発表した矢吹優花さん(3年)が最優秀賞を受賞しました。なお、本来であれば最優秀賞を受賞した矢吹さんが11月16日開催の石川地区弁論大会に出場するのですが、日程的に3年生の修学旅行と2年生の職場体験学習が重なるため、1年生の水野夏希さんが学校代表として出場します。

英語弁論発表は県大会に出場した久保木琉唯さん、駒木根康矢くん、そして地区大会第2位の石東真紀さんの高いレベルの発表ということもあり、会場の皆さんは豊かな表現とその美しい発音や発声に聞き入っていました。日本語に訳したプリントも配付されたので、会場の皆さんは話の内容をよく理解しながら、英語弁論を聞くことができたことと思います。

その後行われた合唱コンクールでは、自由曲だけではなく、課題曲として校歌を1年生は1番、2年生は2番、3年生は3番を歌うという新しいスタイルで行いました。今年も感染症対策で、マスクを着用しての歌唱となり生徒には辛い思いをさせてしまいましたが、1学期からこつこつと練習してきた成果を十分に発揮しました。そのような中で、さすがは3年生。どちらの学級も女子の人数が少ない中で、1、2年生にとって模範となる美しいハーモニーを奏でました。そして最後に特設合唱部の皆さんが洗練された素晴らしい合唱を披露しました。一人一人が心を込めて歌った本当に素晴らしい合唱コンクールでした。「いのちの名前」で最優秀賞を受賞した3年2組の皆さん、指揮者賞を受賞した矢内漣君(2年)、本当におめでとうございます。

そして、午前の発表の締めくくりはダンス発表です。これも今年が初めての取組ですが、生徒は保健体育科の授業で学習したことやたくさん練習したことを十分に発揮し、会場も大いに盛り上がりました。来年はもっと多くの生徒がダンス発表に参加することを期待しています。

午後は学年発表でした。1年生は郷土古殿町について学んだことの発表、2年生は学習旅行で学んだことをテレビ風にアレンジしてのコミカルな発表、そして3年生は予定通りであれば修学旅行で観劇することになっていた劇団四季のミュージカル「ライオンキング」のステージを個性豊かな演技や歌声、踊りとともに高い完成度で披露しました。

そして最後は閉会式です。実行委員の企画や玲瓏祭を振り返るスライドショーを楽しんだ後、テーマソングの「キャラクター」を全員で合唱、そして最後は恒例のくす玉割りを大成功させて第48回玲瓏祭の幕を閉じました。

生徒の皆さん、お子さんを支えてくださった保護者の皆様をはじめ関係の皆様、そして生徒に寄り添って指導に当たった先生方、本当にありがとうございました。



実行委員による企画



合唱コンクール最優秀賞の3年2組



1年生の発表



エンディング



ビッグアートや様々な展示物



意見発表会



ダンス発表



2年生の発表



3年生の発表